

南米の日本語教育実践報告

104

【ボリビア】 井上久美(オキナワ第一日ボ学校)

日本語教育実践報告(ボリビア)

井上久美

オキナワ第一日ボ学校

初めに、ボリビアの日本語教育機関は、ラパス日本語普及学校、ラパス補習授業校、ラパスサンアンドレス大学日本語講座、サンタクルス日本語普及学校、サンフアン学園、ヌエバ・エスペランサ日本語学校、オキナワ第一日ボ学校、コチャバンバ日本語講座の八機関ある。

ボリビア日系協会連合会の下位組織に「ボリビア日本語教育研究委員会」があり、年二回『日本語教師合同研修会』を行い、研究授業や意見交換、教材紹介などを行っている。

次に、主にオキナワ第一日ボ学校の紹介をしたい。

本校は学校運営委員会が運営する私立校で、80年代の超インフレの影響で、公立の学校では正規の教育課程の履修が困難となったため、1987年に設立された。午前にボリビア国の文部省の定める教育を行い、午後は月曜日から金曜日まで日本語の授業を行っている。主な使用教材は「日本語ドレミ」、「にほんごジャンプ」、「みえこさんのにほんご」「こどものにほんご」、東京書籍の国語教科書などである。

本校の目標として、次の4項目を掲げ、学習のルールと生活のルールを設定して指導を行っている。

- ① よく考え、進んで学習する態度を育てる。
- ② 相手の立場を考え、お互いに協力する心を養う。
- ③ 心と体を鍛え、何事にも最後までやり抜く粘り強い心を育てる。
- ④ 規則を守り、公共物を大切にすることを育てる。

本校で年間を通して行っている行事並びに取り組みについて紹介する。

大きな行事として『運動会』、ヌエバ・エスペランサ日本語学校と行う『一泊二日の宿泊学習』、『校内お話大会』、『弁当の日』等がある。

日本語部の授業の主な取り組みとしては、『日本語教育』、『移住学習』、『キャリア教育』、『道徳教育』、『委員会活動』、『クラブ活動』、『エイサー』、『三線』、等を行っている。

このような行事、学習を通して責任感やリーダー性などとともに『道徳心』、『文化の継承』、『移住地を大切に守っていかうという気持ち』を育てている。

しかし、世代が進むにつれだんだん日本語へのモチベーションが低下しており、昨年度 JICA ボランティア(沖縄県現職教師)の方とある取り組みを試みた。それは、5 年に一度沖縄県で行われる『世界のウチナーンチュ大会』への参加である。保護者の方々や沖縄県の大勢の皆様による協力によりオキナワ移住地にある、ヌエバ・エスペランサ日本語学校と本校から合わせて 17 名の生徒が参加することが実現した。本大会参加への大きなねらいは、次の三点であった。

1. 沖縄県に滞在する経験を通して、日本語を学ぶ目的を考えることができる。
2. 沖縄県の中学校に通い同年代の中学生と関わることで日本人の考え方や価値観を知るとともに日本語を使ってコミュニケーションをとることができる。
3. 他国の 3 世、4 世の人たちと交流することで、『海外の日系社会』について知るとともに、自分たちの生活している『オキナワ移住地』を客観的に見つめることができる。

初めて大きな大会に参加し、世界中の日系人との交流もでき、多くのメディアからも注目され、素晴らしい体験ができた。

中学校体験入学でも、糸満市の 3 校が快く引き受けて下さり 17 名が 3 校に分かれ、各クラスに一人ずつ入れるようお願いし、3 日間同年代の生徒たちと授業を受け交流を深めることができた。クラスではどうして日本語が話せるのか聞かれ、ボリビアはどこにあるのか等、色々な質問をされ、初めて体験することも多くあり、日本語漬けの 3 日間であった。その後生徒たちからは「日本語が話せて良かった」、「日本の中学校に通いたい」、「またいつか会いたい」とプラスの感想が多かった。

また、週末はホームステイで初めて親戚の方々に会ったり、買い物をしたり、ビーチパーティーを開いてもらったりと素晴らしい体験ばかりであった。

この取り組みを通して、生徒だけではなく保護者の考え方も変わり、日本語能力試験も積極的に受験させるようになった。

最後に、日本語教育が地域社会に与える影響としては、まず卒業後の進路に有利（現地高校で日系人だからではなく日本語教育を受けているから有利）。現地の会社からも信頼されている。日系団体でも日系エンジニアを優先的に採用する。日本語が話せることで日本との連携が継続できる。そして、非日系の生徒でも日本語教育を受けることで多様な考え方ができるという事が次の作文から伺える。

私が思い描く将来の日系社会

カワシリ シルレイ

私は、ボリビアの小さな村の中にあるオキナワ移住地に住んでいます。ここのオキナワ第一日ボ学校で日本語の勉強をしています。私はボリビア人だけど日本語が大好きです。私は小学生の時、日本語の先生になりたかったです。だけど今は経営者になりたいと思います。その後先生にもなりたいです。だから今、日本語の勉強をしていっぱい日本語を覚えています。日本人ではないけど日本語をたくさん覚ええました。

この小さなオキナワ村には、日系人が少しだけいてさみしいです。もっといればいいなと思います。

私が経営者になったら、ここで小さな会社を作って日本から来る人の家を作り、働く人も増やしたいと思います。オキナワ村を見せて、ここに残るようにしたいと思います。

大きくなったらこの夢をかなえてオキナワの小さな会社で、日本人とボリビア人が一緒に仕事をしていけるようにしたいです。だからこの学校で勉強して良かったと思います。

以上